

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第7区分
【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公開番号】特開2002-211796(P2002-211796A)
【公開日】平成14年7月31日(2002.7.31)
【出願番号】特願2001-10271(P2001-10271)
【国際特許分類】

B 6 5 H 7/06 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 7/06

G 0 3 G 15/00 5 2 6

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月18日(2008.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

シート搬送路の適宜箇所に設けられ、搬送されるシートの通過を検知する検知手段と、前記検知手段の検知結果に基づいて、シートの搬送状態を判断する制御手段とを有し、前記検知手段は、シートの先端が通過したことをカウントするカウント部と、シートの後端が通過したことをカウントするカウント部とを備え、前記制御手段は、これらのカウント部を比較し、前記シートの搬送状態を判断することを特徴とするシート詰り検知装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

前記検知手段は、シートの先端が通過したことをカウントする第一カウント部と、シートの後端が通過したことをカウントする第二カウント部と、シート詰りの処理後、シート排出を行う際にシートの先端が通過したことをカウントする第三カウント部と、シート詰りの処理後、シート排出を行う際にシートの後端が通過したことをカウントする第四のカウント部とを有することを特徴とする請求項1記載のシート詰り検知装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ジャムの原因となったシートを処理した後、シート搬送路上にある残りのシートを排出する際、それぞれのシートの搬送をチェックしながら排出するようにしたシート詰り検知装置に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するため、シート搬送路の適宜箇所に設けられ、搬送されるシートの通過を検知する検知手段と、前記検知手段の検知結果に基づいて、シートの搬送状態を判断する制御手段とを有し、前記検知手段は、シートの先端が通過したことをカウントするカウント部と、シートの後端が通過したことをカウントするカウント部とを備え、前記制御手段は、これらのカウント部を比較し、前記シートの搬送状態を判断することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

さらに、前記検知手段は、シートの先端が通過したことをカウントする第一カウント部と、シートの後端が通過したことをカウントする第二カウント部と、シート詰りの処理後、シート排出を行う際にシートの先端が通過したことをカウントする第三カウント部と、シート詰りの処理後、シート排出を行う際にシートの後端が通過したことをカウントする第四のカウント部とを有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の好適な実施形態を図に基づいて説明する。図1に、本発明に適用されるシート詰り検知装置の概略を示す。このシート詰り検知装置は、シートを所定の所へ搬送するシート搬送路10と、シート搬送路10の適宜個所に一つ以上設けられ、搬送されるシートPnの通過を検知する検知手段Sn（ただし、 $n \geq 1$ ）と、検出手段Dnを備え、検知手段Snの一つまたは各検知手段Sn間に配置された一つ以上のカバー部材Anと、検知手段Snと検出手段Dnの検知結果に基づきシートPnの搬送をチェックする制御手段20とを有する。